

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【公表番号】特表2009-504780(P2009-504780A)
 【公表日】平成21年2月5日(2009.2.5)
 【年通号数】公開・登録公報2009-005
 【出願番号】特願2008-527189(P2008-527189)
 【国際特許分類】

C 0 7 D 401/12 (2006.01)
 A 6 1 K 31/497 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 31/14 (2006.01)
 C 0 7 D 209/52 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 401/12 C S P
 A 6 1 K 31/497
 A 6 1 P 43/00 1 1 1
 A 6 1 P 31/14
 C 0 7 D 209/52

【手続補正書】
 【提出日】平成21年8月14日(2009.8.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0077
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0077】

本明細書で使用されている「アリアル」基は、単独または「アラルキル」、「アラルコキシ」または「アリアルオキシアルキル」のように大きな部分の一部として使用され、単環式(例えば、フェニル)、二環式(例えば、インデニル、ナフタレニル、テトラヒドロナフチル、テトラヒドロインデニル)、および三環式(例えば、フルオレニル、テトラヒドロフルオレニル、またはテトラヒドロアントラセニル、アントラセニル)環系を包含するので、単環式の環系は芳香族であるか、または二環式または三環式環系における環の少なくとも1個は芳香族である。二環式および三環式基は、ベンゾ縮合2~3員炭素環を包含する。例えば、ベンゾ縮合基は、2個またはそれ以上のC₄₋₈炭素環状部分と縮合したフェニルを含む。アリアルは、所望により1個またはそれ以上の置換基、例えば脂肪族(例えば、アルキル、アルケニルまたはアルキニル)、脂環式、(脂環式)脂肪族、ヘテロ環式脂肪族、(ヘテロ環式脂肪族)脂肪族、アリアル、ヘテロアリアル、アルコキシ、(脂環式)オキシ、(ヘテロ環式脂肪族)オキシ、アリアルオキシ、ヘテロアリアルオキシ、(芳香脂肪族)オキシ、(ヘテロ芳香脂肪族)オキシ、アロイル、ヘテロアロイル、アミノ、オキソ(ベンゾ縮合二環式または三環式アリアル非芳香族炭素環における)、ニトロ、カルボキシ、アミド、アシル(例えば、脂肪族カルボニル、(脂環式)カルボニル、((脂環式)脂肪族)カルボニル、(芳香脂肪族)カルボニル、(ヘテロ環式脂肪族)カルボニル、((ヘテロ環式脂肪族)脂肪族)カルボニル、または(ヘテロ芳香脂肪族)カルボニル)、スルホニル(例えば、脂肪族-SO₂-またはアミノ-SO₂-)、スルフィニル(例えば、脂肪族-S(O)-または脂環式-S(O)-)、スルファニル(例えば、脂肪族-S-)、シアノ、ハロ、ヒドロキシ、メルカプト、スルホキシ、尿素、チオ尿素、スルファモイル、スルファミド、またはカルバモイルにより置換されていてもよい。また、アリアルは非置換の場合もあり

得る。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0115

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0115】

一般に、「ジェミナル」の語は、2個またはそれ以上の炭素原子を含む基上の置換基の位置関係に関するもので、置換基は同一炭素原子に結合している。